

令和3 年度第9 回ヨコハマe アンケート

救急医療に関するアンケート

実施期間 令和3年9月17日（金）から10月1日（金）

事業所管課 医療局 医療政策課

年代別・性別のメンバー数／構成比

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	不明	計
男性	13 (0.4%)	60 (1.7%)	194 (5.5%)	419 (11.9%)	433 (12.3%)	424 (12.1%)	255 (7.3%)	1 (0.0%)	1,799 (51.2%)
女性	9 (0.3%)	102 (2.9%)	481 (13.7%)	543 (15.5%)	384 (10.9%)	132 (3.8%)	41 (1.2%)	0 (0.0%)	1,692 (48.2%)
不明	1 (0.0%)	3 (0.1%)	3 (0.1%)	6 (0.2%)	4 (0.1%)	4 (0.1%)	1 (0.0%)	0 (0.0%)	22 (0.6%)
計	23 (0.7%)	165 (4.7%)	678 (19.3%)	968 (27.6%)	821 (23.4%)	560 (15.9%)	297 (8.5%)	1 (0.0%)	3,513 (100.0%)

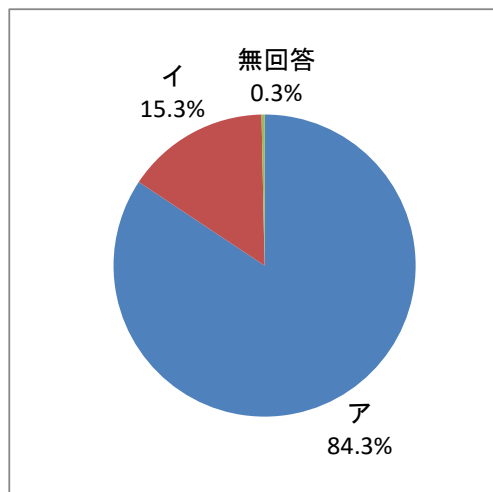
年代別・性別の回答者数／回答率

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	不明	計
男性	0 (0.0%)	15 (25.0%)	55 (28.4%)	200 (47.7%)	228 (52.7%)	261 (61.6%)	153 (60.0%)	1 (100.0%)	913 (50.8%)
女性	1 (11.1%)	16 (15.7%)	137 (28.5%)	207 (38.1%)	173 (45.1%)	77 (58.3%)	18 (43.9%)	0 (0.0%)	629 (37.2%)
不明	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)	5 (83.3%)	1 (25.0%)	2 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	9 (40.9%)
計	1 (4.3%)	31 (18.8%)	193 (28.5%)	412 (42.6%)	402 (49.0%)	340 (60.7%)	171 (57.6%)	1 (100.0%)	1,551 (44.2%)

**Q1 急な病気やけがのとき、夜間・休日に受診可能な医療機関を知っていますか。
(単一選択)**

n = 1,551

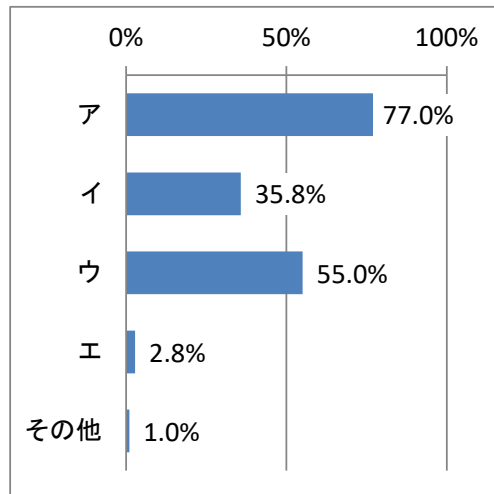
ア	知っている (⇒Q2)	84.3%	1,308
イ	知らない (⇒Q3)	15.3%	238
無回答		0.3%	5
		100.0%	1,551



Q2 Q1で「ア 知っている」と回答された方にお伺いします。
その医療機関について、選択項目の中から選択してください。
※「その他」を選択した方はQ5へ
(複数選択可)

n = 1,308

ア	区休日急患診療所 (⇒Q5)	77.0%	1,007
イ	近隣の大きな病院 (⇒Q4)	35.8%	468
ウ	夜間急病センター (⇒Q5)	55.0%	720
エ	かかりつけの診療所 (⇒Q5)	2.8%	37
その他		1.0%	13



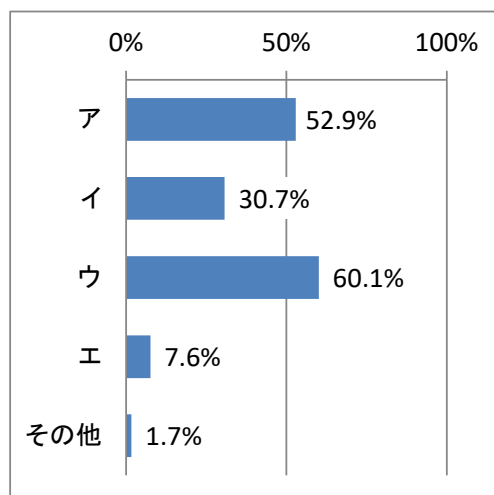
その他(抜粋)

市民ガイドなどに掲載されている医療機関

Q3 Q1で「イ 知らない」と回答された方にお伺いします。
夜間・休日に急な病気やけがをした際にはどのように対応しますか。
(複数選択可)

n = 238

ア	119番通報	52.9%	126
イ	#7119に電話	30.7%	73
ウ	インターネット等で受診可能な医療機関を検索	60.1%	143
エ	近隣の医療機関に直接問い合わせる	7.6%	18
その他		1.7%	4



その他(抜粋)

横浜市救急相談センターに問い合わせる。

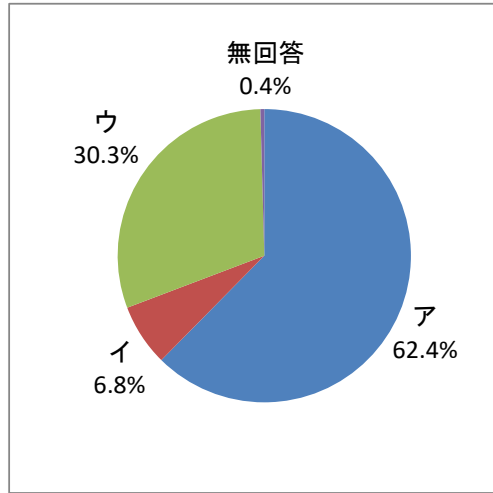
近隣に住居している家族に相談する

定期通院中の救急受け入れ可能な病院に指示を仰ぐ。

Q4 Q2で「イ 近隣の大きな病院」と回答された方にお伺いします。
その病院は24時間365日受診可能な病院ですか。
(単一選択)

n = 468

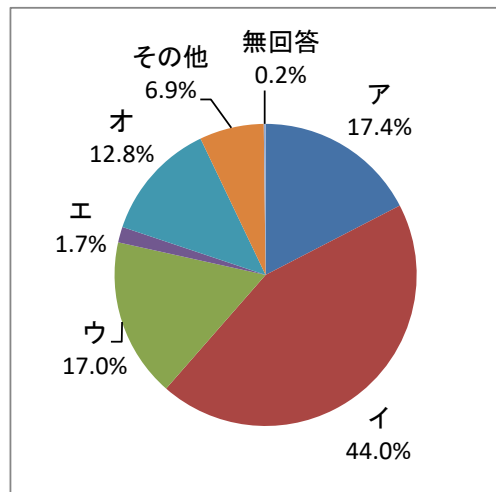
ア	はい	62.4%	292
イ	いいえ	6.8%	32
ウ	知らない	30.3%	142
無回答		0.4%	2
		100.0%	468



Q5 全員にお伺いします。
あなたが、平日20時頃(通常診療時間外)に腹痛を患い医療機関を受診したいと考えたとき、どの医療機関を利用しますか。
(単一選択)

n = 1,551

ア	区休日急患診療所	17.4%	270
イ	夜間急病センター	44.0%	683
ウ	近隣の大きな病院	17.0%	264
エ	かかりつけの診療所	1.7%	26
オ	わからない	12.8%	198
その他		6.9%	107
無回答		0.2%	3
		100.0%	1,551



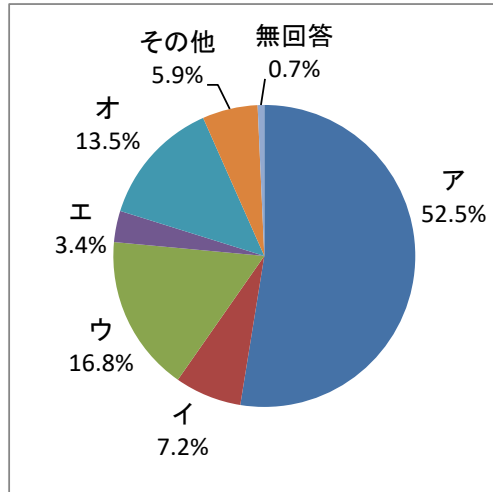
その他(抜粋)

我慢できれば翌日まで我慢し翌日病院へ行く。限界だったら救急車を呼んで対応してもらう。
オンライン診療や在宅診療で対応する。
#7119に電話して相談して紹介してもらった医療機関。
近くのなるべく早く行ける病院で、診てもらえるところならどこでも良い。
痛みの程度による。

Q6 あなたが、日曜日15時頃(通常診療時間外)に指をケガし、医療機関を受診したいと考えたとき、どの医療機関を利用しますか。
(単一選択)

n = 1,551

ア	区休日急患診療所	52.5%	815
イ	夜間急病センター	7.2%	111
ウ	近隣の大きな病院	16.8%	260
エ	かかりつけの診療所	3.4%	52
オ	わからない	13.5%	210
その他		5.9%	92
無回答		0.7%	11
		100.0%	1,551



その他(抜粋)

怪我の程度によるのでまずは、#7119に電話する。

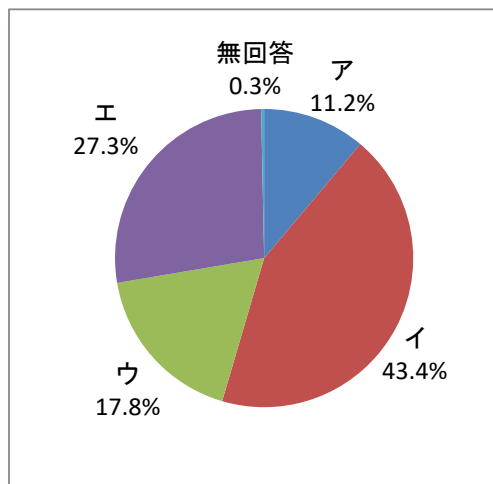
手術が必要なほど酷くなければ自己手当てで済ませ、翌日近隣の診療所に行く。

ネットで受診可能な医院を探す。

Q7 限られた医療資源を有効に活用し、より適切な医療を提供するため、救急医療機関はそれぞれが持つ医療機能に応じて初期(一次)、二次、三次と役割が分かれており、役割に応じた医療機関を受診することが望ましいとしています。あなたは、そのことについて知っていましたか。
(単一選択)

n = 1,551

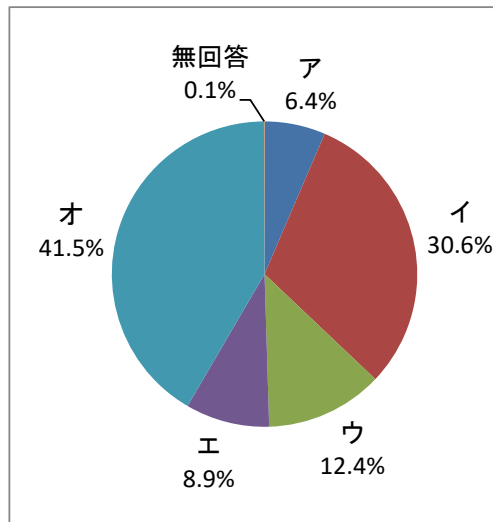
ア	知っていてどの医療機関がどの役割を担っているかも知っている	11.2%	173
イ	知っているがどの医療機関がどの役割を担っているかまでは知らない	43.4%	673
ウ	聞いたことはある	17.8%	276
エ	知らない	27.3%	424
無回答		0.3%	5
		100.0%	1,551



Q8 横浜市の救急医療体制は、他都市に比べて充実していると思いますか。
(単一選択)

n = 1,551

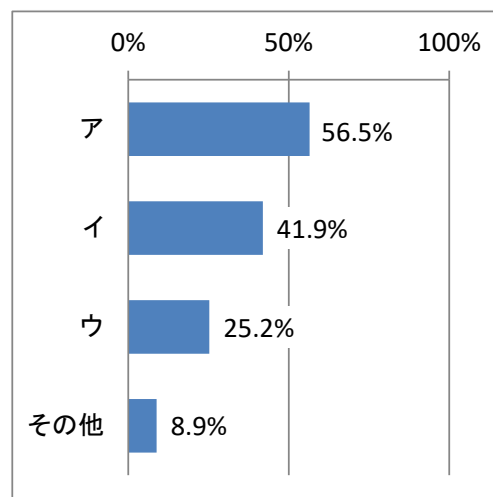
ア	そう思う	(⇒Q9)	6.4%	100
イ	どちらかと言えばそう思う	(⇒Q9)	30.6%	475
ウ	どちらかと言えばそう思わない	(⇒Q10)	12.4%	193
エ	そう思わない	(⇒Q10)	8.9%	138
オ	わからない	(⇒Q11)	41.5%	644
無回答			0.1%	1
			100.0%	1,551



Q9 Q8で「ア そう思う」、「イ どちらかと言えばそう思う」と回答された方にお伺いします。
そう回答した理由を選択項目の中から選択してください。
(複数選択可)

n = 575

ア	救急医療体制に参加している医療機関が多い	56.5%	325
イ	救急医療体制についての情報が充実している	41.9%	241
ウ	疾患別などの症状に応じた救急医療体制が確保されている	25.2%	145
その他		8.9%	51



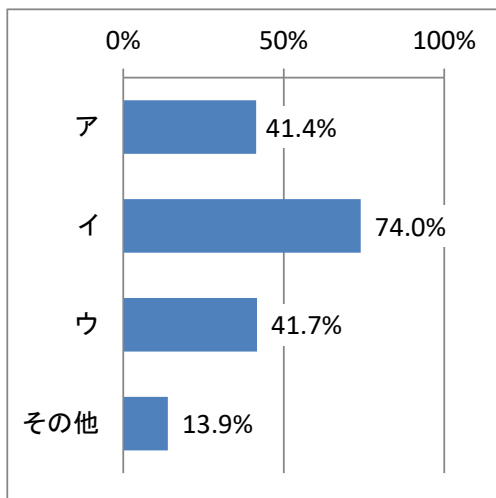
その他(抜粋)

- 大きな病院が複数あるから。
- 救急車を要請するとすぐに来てくれるから。
- なんとなく、今まで問題なく対応してもらえたから。

Q10 Q8で「ウ どちらかと言えばそう思わない」、「エ そう思わない」と回答された方にお伺いします。そう回答した理由を選択項目の中から選択してください。(複数選択可)

n = 331

ア	救急医療体制に参加している医療機関が少ない	41.4%	137
イ	救急医療体制についての情報が不足している	74.0%	245
ウ	疾患別などの症状に応じた救急医療体制が不十分	41.7%	138
その他		13.9%	46



その他(抜粋)

23区から転居してきたので、人口に対して救急医療機関が少ないと感じます。医療機関までの交通手段も限られており、区や市の中心部に住んでいないとアクセスしづらい人も多いのではないのでしょうか。

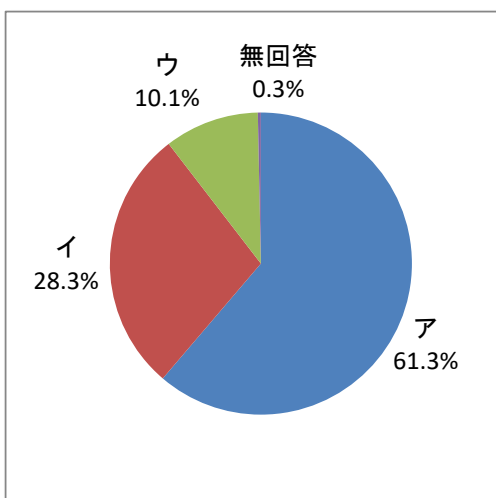
地域的によって偏りやバラツキがある。

救急車が搬送先の病院を探すのに時間がかかり過ぎる。

Q11 全員にお伺いします。病床数が200床以上の病院において、初診時に他の医療機関等からの紹介状がなく来院された場合、初診料のほかにお支払いいただく費用として「選定療養費」があります。あなたは「選定療養費」を知っていますか。(単一選択)

n = 1,551

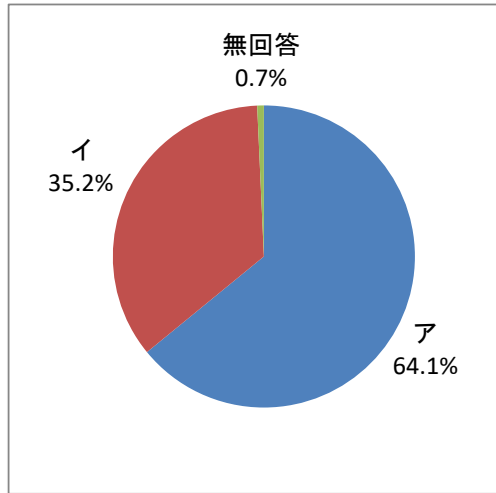
ア	知っている	61.3%	950
イ	知らない	28.3%	439
ウ	聞いたことはあるが意味までは知らない	10.1%	157
無回答		0.3%	5
		100.0%	1,551



**Q12 「横浜市救急相談センター(#7119)」を知っていますか。
(単一選択)**

n = 1,551

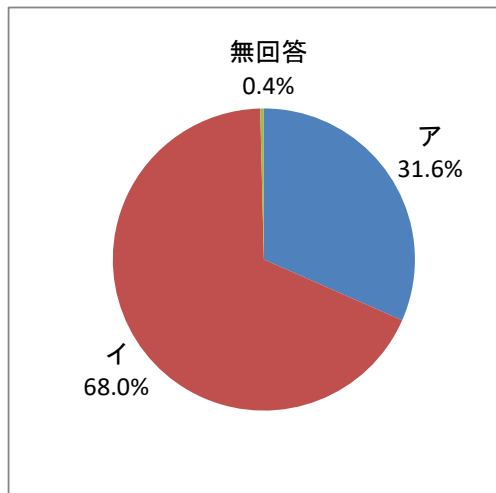
ア	知っている	64.1%	994
イ	知らない	35.2%	546
無回答		0.7%	11
		100.0%	1,551



**Q13 「横浜市救急受診ガイド」を知っていますか。
(単一選択)**

n = 1,551

ア	知っている	31.6%	490
イ	知らない	68.0%	1,055
無回答		0.4%	6
		100.0%	1,551



(抜粋)

もっと一般的に救急医療体制についてだれもが把握できるような状況になるよう、広報活動を行ってほしい。
夫の急病で#7119を利用したことがあります、とてもの確にアドバイスをしていただき、助かりました。
#7119ではなくWeb上で、区休日急患診療所に対応している医師の担当医科が分かるようにしてほしい。怪我をしたときに区休日急患診療所の医師が内科専門だけだと困る。
救急医療について「必要になったらネットで診てもらえるところを探せば良いかな」くらいに考えていましたが、このアンケートをやって、知らない言葉が出てきたりして、今の自分の問題意識の無さを反省しています。横浜市の救急医療体制についても事前に理解しておこうと思います。
人口に対して救急医療機関が少ないと感じる。小児科の入院ベッド数も少ない。病気や事故は突然起こるので救急病院を増やしてほしい。
交通手段が限られている高齢者などに向けて、安価な価格での移動サービスとの連携があると助かります。
横浜市の人口が他都市と比べて多く、財政も豊かでないことから、すぐに対処してもらう事は難しく、また気も引け、憚る気持ちが出てしまいます。いつでも助けを求めれば助けてもらえる、安心した医療体制を望みます。
夜間や休日に救急医療にかかった事はないが、いつ具合が悪くなっても安心出来るような体制を希望します。
横浜市救急相談センターも横浜市救急受診ガイドも知りませんでした。この時期なので、特に医療機関受診ガイドのような案内などなんでも活用して幅広く広報してほしいです。
問い合わせ先がいくつもあるのは良いことだと思うが、実際に利用する事がほとんどないので、いざ必要になった時に適切に対応してもらえるのか心配ではある。
休日夜間診療所は、各区にはあるものの、アクセスの良いところにある診療所とそうではない診療所がある。できれば、区内に複数箇所設置して、救急車を呼ばなくても自分で何とかできる体制を整備しておいた方が良いと思う。